
月の夜

真空の刃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月の夜

【Nコード】

N2571F

【作者名】

真空の刃

【あらすじ】

ある日ある少年がある草原にてある目覚めをしてある家を見つけある親友と虎を見つけ…というグダグダな小説です。非日常と出会ってそれに順応して行く物語。そんな小説です。

第1話：夢か現実であった非日常

朝起きるとそこは一面の草原だった。とにかく草。木も何も無い。現実逃避をするだけしておこう。

「んあ…朝か…起きて支度しなきゃ遅刻する…ってここどこッ！夢か？寧ろ現実か！？寧ろ幻想世界かあ！？僕は俺、俺は草原、草原は幻想世界…てちゃうわあ！」

やっぱりどうがんばっても目に入るだけ入るよなあ、一人コントの様なのは気のせいだろう。…多分。

「落ち着け俺、まずは吸ってー吐いてーポーズ！ってだから落ち着け俺。まずここは正体不明の草原、俺の名前は安室^{アムロレイ} 零で…某口ボツトアニメの主人公の名前と被るから嫌だけど…それで俺の年齢は15歳、職業は高校生で今思い出せる記憶は昨日の夜に変な世界にいけるといいなと思って寝て…ここは夢か変な世界と、そう考えておこう。壮絶な独り言だよ、俺」

まずはここはどこかだけを知ろう。夢ならそれで終わり、ありえないけど小説のように異世界に飛んだなら飛んだでここで暮らすしかない。

とりあえず最後の現実逃避を決行しよう。思いっきり息を吸って…叫ぶ。

「わっほーーーーーい！！！！！！！！！！」

その後空に浮かぶ月に向かって歩き出した、だってそれ以外に目印

がないじゃん…

家を見つけるか人に会うか夢から覚めるまで歩き出そうと心に決めた。

そして少し歩いて集落らしきものを見つけたとき、俺は自分自身の目を疑った。家の形がテントの形みたいだったけれど突っ込むところはそこじゃなかった。

そこには自分の親友が虎と話していたから。2つ足で立っている虎と。

第1話：夢か現実であった非日常（後書き）

もしかしたら知っている人もいるかもしれませんが。真空の刃という
ものです。

未熟者ですがこれからよろしく願います。

毎日更新は自分には無理です！

期待されるだけこちらにはプレッシャーなんでそれほどまで期待せ
ずにお願います。

基本的に脱力系小説なんでほわわーんと読んでくれれば幸いです。

ではこれから宜しく願います！

第2話：やっぱり非日常の世界

口を開けたまま3秒ほど動かなかったが即立ち直り、挨拶を交わした。

「おつすタケマ、お前は どうしてここに居るんだ？そして名前の分からない虎Aさん こんにちは」

多少失礼な気がしなくてもないが気にしない。うん。んつと、武間が返事を返して来てくれたつと。武間って言うのは親友で本名武田弾間。弾の間もすり抜けられるほどシビアな子になれてって意味で付けられたらしい。正直意味が分からん。

「おう、レイ。居る理由としては分からない。気がついたらここに居た。そしてここに居る人はトラタケさんだ」

作者よ、もう少しマシな名前を考えたらどうだ。この言葉はタブーだって？この世の常識は全て俺がぶち壊すのはやめよう。

「どうも、こんにちは。先ほどは失礼な呼びかたをしてくれたレイさん。恨みは砂粒ほども持って居ませんから気にしないで下さい」

殺気が感じられるのは恐らく気のせいだろう。コワイコワイ。まあ社交辞令として謝っておこうか。

「名前を知らなかったとはいえあの呼び方は些か酷すぎましたね。スミマセンでした」

泥の粒子の一粒ほども思っただけ。砂よりも泥の方が粒子は細

かいですよ、知っていました？って知ってるよな。うん。

「そしてタケマよ。この世界には何があるんじゃない？教えてくれんかのぉ？」

「いきなり爺臭くなるな。対応に困る。まあいいか。この世界にはモンスターがいてそれを狩るハンターがいる。まさにモンスターハンター」

「その先はいうな、いろいろとマズイ。何がマズイかは知らないが俺の第6感が告げている、とにかくマズイ」

「んあ…そうか。それでそのハンターがこのトラタケさんだ」

ふーん…この虎がねえ…そういやなんで虎が喋るか聞いてなかったけどまあいいや。めんどっちい。

「いい忘れてたがなっ！この世界には魔法がある！魔法だぞ魔法！ライターとかがすコンロが無くても火が起こせるんだぞっ！水を突然降らせたり」

「分かったから静まれ、このバカタケマ、この隠れオタク、いい歳して興奮するな」

タケマは興奮すると周りが見えなくなっって一気に精神年齢が幼くなる。まあ最初は引いたけどもうどうとも思わないがな。

まあ魔法か…興味がない訳じゃないし今度やり方でも聞いて見るか。

第2話・やっぱり非日常の世界（後書き）

最初の方って構成が温まってるから一日で3話くらいは更新できる
んですよ。

ですけど1週間も経つといろいろとネタが出てこなくなってる…
これってどうやって解決してけばいいんでしょうかね？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2571f/>

月の夜

2011年1月9日07時30分発行